

平成23年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年4月27日

上場会社名 ファナック株式会社 上場取引所 東

コード番号 6954

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 稲葉 善治

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 小島 秀男 (TEL) 0555 (84) 5555

定時株主総会開催予定日 平成23年6月29日 配当支払開始予定日 平成23年6月30日

有価証券報告書提出予定日 平成23年6月30日

決算補足説明資料作成の有無： 無

決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成23年3月期の連結業績(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期	446,201	76.1	189,757	244.9	195,434	225.4	120,155	220.3
22年3月期	253,393	△34.7	55,024	△59.1	60,063	△59.7	37,511	△61.4

(注) 包括利益 23年3月期 107,216百万円 (66.2%) 22年3月期 64,523百万円 (-%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
23年3月期	613.75	—	14.1	20.5	42.5
22年3月期	187.75	—	4.5	6.5	21.7

(参考) 持分法投資損益 23年3月期 3,126百万円 22年3月期 △488百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期	1,013,000	894,494	87.9	4,550.71
22年3月期	891,651	812,657	90.8	4,133.89

(参考) 自己資本 23年3月期 890,804百万円 22年3月期 809,384百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
23年3月期	122,338	△ 6,816	△ 25,759	583,486
22年3月期	66,009	△ 23,575	△ 104,047	499,140

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
22年3月期	—	13.19	—	43.14	56.33	11,029	30.0	1.4
23年3月期	—	85.54	—	98.59	184.13	36,046	30.0	4.2
24年3月期 (予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 24年3月期の第2四半期末及び期末の配当金につきましては、開示が可能になった時点で速やかに開示する予定です。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	237,300	13.4	104,600	17.4	107,900	18.8	67,900	21.6	346.87
通 期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 24年3月期の通期の連結業績予想につきましては、開示が可能になった時点で速やかに開示する予定です。

4. その他

(1)期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2)会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更： 有
 ② ①以外の変更： 無

(注)詳細は、添付資料14ページ「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更」をご覧ください。

(3)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年3月期	239,508,317株	22年3月期	239,508,317株
② 期末自己株式数	23年3月期	43,757,759株	22年3月期	43,716,001株
③ 期中平均株式数	23年3月期	195,772,801株	22年3月期	199,797,304株

(参考)個別業績の概要

1. 平成23年3月期の個別業績(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(1)個別経営成績

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期	379,933	148.9	168,876	366.7	173,992	216.9	106,005	74.0
22年3月期	152,661	△42.2	36,187	△62.3	54,911	△49.8	60,936	△10.9

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期	541.47	—
22年3月期	304.99	—

(2)個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期	887,917	795,764	89.6	4,065.19
22年3月期	775,188	715,502	92.3	3,654.39

(参考)自己資本 23年3月期 795,764百万円 22年3月期 715,502百万円

※ 監査手続きの実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査の手続きの対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続きは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記述されている業績予想および将来予想は、主要市場における製品の需給動向、競合状況、経済情勢その他に不透明な面があり、実際の業績は見通しと異なる可能性があることをご承知おき願います。業績予想につきましては、添付資料3ページ「次期(平成23年度)の見通し」をご覧ください。なお、24年3月期の通期の連結業績予想ならびに第2四半期末および期末の予想配当金につきましては、公表が可能になった時点で速やかに明らかにする予定です。

○ 添付資料の目次

1. 経営成績	2
(1) 経営成績に関する分析	2
(2) 財政状態に関する分析	4
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期の配当	5
2. 経営方針	5
(1) 経営の基本方針	5
(2) 対処すべき課題	5
3. 連結財務諸表	7
(1) 連結貸借対照表	7
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 継続企業的前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況	14
(6) 連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項	14
(7) 連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更	14
(8) 連結財務諸表に関する注記事項	15
(連結包括利益計算書関係)	15
(セグメント情報)	15
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	17

決算発表補足資料

1. 経営成績

(1) 経営成績に関する分析

① 当期（平成22年度）の経営成績

当期における経済情勢は、中国をはじめとして、台湾、韓国、インドなどアジア地域において急速に市場の回復が進み、欧米および国内市場においても、緩やかながら回復基調が続きました。

このような状況のなか、アジア地域を中心に、顧客の設備投資需要は極めて旺盛で、当社グループでは、過去最高水準の受注・生産・売上が続きました。

研究開発におきましては、高信頼性を基本に各商品の知能化・超精密化を図り、競争力の強化に全力を挙げました。製造におきましては、部品加工・組立の自動化、ロボット化を強力的に推し進め、大幅な増産体制の構築に全力を挙げました。また、コストの削減にも、引き続き努力を傾注しました。一方で、経費の徹底的な削減努力も引き続き行いました。

当期の連結売上高は4,462億1百万円（前期比76.1%増）、連結経常利益は1,954億34百万円（前期比225.4%増）、連結純利益は1,201億55百万円（前期比220.3%増）となりました。

部門別の状況は、以下のとおりです。

〔FA部門〕

CNCシステムの主要顧客であります工作機械業界の状況は、中国、台湾、韓国において需要が高原状態で推移し、また同地域向けの輸出需要に支えられ国内工作機械業界も回復基調が続きました。これにより、CNCシステムの売上は極めて好調に推移しました。

レーザにつきましては、特に国内市場において、売上の回復が顕著でした。

FA部門の連結売上高は2,476億67百万円（前期比88.4%増）、全連結売上高に対する構成比は55.5%となりました。

〔ロボット部門〕

ロボットにつきましては、主要な市場であります米州において回復が本格化しました。また同じく主要な市場であります欧州においても好調に推移し、中国などアジア市場においても需要は引き続き活発でした。また国内

市場も、回復基調が続きました。

ロボット部門の連結売上高は779億89百万円（前期比6.0%増）、全連結売上高に対する構成比は17.5%となりました。

〔ロボマシン部門〕

ロボドリル（小型マシニングセンタ）につきましては、中国を中心としたアジア向けの売上が高原状態で推移しました。また、国内および欧米市場においても売上は回復してまいりました。ロボドリルの生産は、期中を通じて、過去最高の水準が続きました。

ロボショット（電動射出成形機）につきましては、中国をはじめとしたアジア向けの売上が伸長し、国内および欧米市場でも回復が進みました。

ロボカット（ワイヤカット放電加工機）につきましては、米州およびアジア向けを中心に、回復が進みました。

ロボマシン部門の連結売上高は1,205億45百万円（前期比149.3%増）、全連結売上高に対する構成比は27.0%となりました。

② 次期（平成23年度）の見通し

今後につきましては、中国をはじめとするアジア市場は好調に推移しておりますが、国内および欧米市場の回復は緩やかであり、また本年3月に発生いたしました東日本大震災の国内経済に及ぼす影響なども不透明な状況です。

東日本大震災の影響により業績予想の算定が困難ですが、現時点での平成24年3月期上期の連結業績予想は以下のとおりです。

平成24年3月期上期の連結業績予想

	金額（百万円）	前年同期比（%）
売上高	237,300	13.4
営業利益	104,600	17.4
経常利益	107,900	18.8
当期純利益	67,900	21.6

注）平成23年4月1日から平成23年9月30日までの期間における為替レートは、平均83円/ドル、117円/ユーロを想定しております。

(2) 財政状態に関する分析

〔財政状態〕

資産合計は、前年度末比 1,213 億 49 百万円増の 1 兆 130 億円となりました。これは、以下で述べる連結キャッシュ・フローの増加により、現金及び預金が前年度末比 841 億 93 百万円増加したことに加え、受取手形及び売掛金が 238 億 64 百万円、棚卸資産が 187 億 4 百万円増加したことが主な理由です。

また負債合計は、前年度末比 395 億 12 百万円増の 1,185 億 6 百万円となりました。

純資産合計は、前年度末比 818 億 37 百万円増の 8,944 億 94 百万円となりました。

〔キャッシュ・フロー〕

当連結会計年度における連結キャッシュ・フローは、以下に述べるキャッシュ・フローの増減に為替換算差額 71 億 6 百万円を減算し、前年同期比 1,391 億 29 百万円増の 826 億 57 百万円となりました。この結果現金及び現金同等物の当連結会計年度期末残高は 5,834 億 86 百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における営業活動の結果得られた資金は、前年同期比 563 億 29 百万円増の 1,223 億 38 百万円となりました。これは主に税金等調整前当期純利益の増加が、売上債権、棚卸資産及び法人税等の支払額の増加を上回ったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における投資活動の結果使用した資金は、前年同期比 167 億 59 百万円減の 68 億 16 百万円であり、これは主に有形固定資産の取得による支出です。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における財務活動の結果使用した資金は、前年同期比 782 億 88 百万円減の 257 億 59 百万円であり、これは主に自己株式の取得による支出が減少したことによるものです。

(3) 利益配分に関する基本方針および当期の配当

当社は、企業体質の強化を図り、連結業績に連動した利益還元を将来にわたり実現できるよう努力を続けております。

株主還元につきましては、安定した配当政策を基本としながらも、連結ベースで当期純利益の30%以上の配当性向を確保するべく努力してまいります。また、株式市場の状況を見て、必要により自己株式取得も行ってまいります。

なお、当社は、厳しい市場競争のなかにあつて利益確保のため努力を続ける取締役および社員につきましては、その賞与を配当と同様純利益に連動して支給することを併せて方針としております。

また、内部留保資金につきましては、当社の事業は技術革新が急激でかつ競争が激しい先端分野であることに鑑み、中長期的な視点にたち、新商品の開発、製造のロボット化および海外体制の強化への投資に優先的に活用いたします。

当期の配当金につきましては、以下を予定しております。

	上期配当	下期配当 (予定)	年間配当 (予定)	配当性向
当期(平成22年度)	85円54銭	98円59銭	184円13銭	30.0%
(ご参考) 前期(平成21年度)	13円19銭	43円14銭	56円33銭	30.0%

2. 経営方針

(1) 経営の基本方針

当社グループは、創業以来、「厳密と透明」を経営の基本方針として、FA、ロボットおよびロボマシンという3つの商品にグループの総力を集中し、事業活動を行なっております。

(2) 対処すべき課題

今後につきましては、中国をはじめとするアジア市場は好調に推移しておりますが、国内および欧米市場の回復は緩やかであり、また本年3月に

発生いたしました東日本大震災の国内経済に及ぼす影響なども不透明な状況です。

このようななかで、当社グループは、アジア地域を中心とした旺盛な需要に対応すべく、工場の自動化、ロボット化を強力に推し進め、FA、ロボット、ロボマシンの生産能力の大幅な増強に全力を挙げてまいります。

また、引き続き研究所の総力を挙げて、高信頼性を基本に、知能化・超精密化を推し進め、商品競争力の強化に努めてまいります。

そして、セールス、サービス、研究所および工場が一丸となって、各市場におけるシェアのアップを図り、拡販に全力を尽くしてまいります。

3. 連結財務諸表
 (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成22年3月31日)	当連結会計年度 (平成23年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	499,327	583,520
受取手形及び売掛金	55,417	79,281
商品及び製品	21,850	31,718
仕掛品	24,623	32,162
原材料及び貯蔵品	6,244	7,541
繰延税金資産	12,803	15,761
その他	4,885	5,758
貸倒引当金	△1,576	△1,749
流動資産合計	623,573	753,992
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	68,392	66,231
機械装置及び運搬具（純額）	17,379	15,670
土地	115,870	114,910
その他（純額）	10,145	10,244
有形固定資産合計	211,786	207,055
無形固定資産		
のれん	22,614	16,988
その他	605	520
無形固定資産合計	23,219	17,508
投資その他の資産		
投資有価証券	27,855	26,270
その他	5,863	8,826
貸倒引当金	△645	△651
投資その他の資産合計	33,073	34,445
固定資産合計	268,078	259,008
資産合計	891,651	1,013,000

ファナック株(6954)平成23年3月期決算短信

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成22年3月31日)	当連結会計年度 (平成23年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,560	21,468
未払法人税等	14,172	42,168
アフターサービス引当金	3,806	4,123
その他	22,650	21,830
流動負債合計	56,188	89,589
固定負債		
退職給付引当金	22,380	25,219
その他	426	3,698
固定負債合計	22,806	28,917
負債合計	78,994	118,506
純資産の部		
株主資本		
資本金	69,014	69,014
資本剰余金	96,259	96,261
利益剰余金	987,685	1,082,997
自己株式	△310,604	△311,094
株主資本合計	842,354	937,178
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,411	2,349
為替換算調整勘定	△35,381	△48,723
その他の包括利益累計額合計	△32,970	△46,374
少数株主持分	3,273	3,690
純資産合計	812,657	894,494
負債純資産合計	891,651	1,013,000

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成21年 4 月 1 日 至 平成22年 3 月31日)	当連結会計年度 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成23年 3 月31日)
売上高	253,393	446,201
売上原価	152,360	208,076
売上総利益	101,033	238,125
販売費及び一般管理費	46,009	48,368
営業利益	55,024	189,757
営業外収益		
受取利息	2,481	1,466
受取配当金	2,855	533
持分法による投資利益	—	3,126
雑収入	1,833	2,410
営業外収益合計	7,169	7,535
営業外費用		
投資有価証券評価損	—	530
持分法による投資損失	488	—
為替差損	—	455
固定資産除売却損	59	478
特許和解金	1,364	—
雑支出	219	395
営業外費用合計	2,130	1,858
経常利益	60,063	195,434
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	1,939
合弁契約解消に伴う損失	4,237	—
特別損失合計	4,237	1,939
税金等調整前当期純利益	55,826	193,495
法人税、住民税及び事業税	16,576	77,319
法人税等調整額	1,152	△4,638
法人税等合計	17,728	72,681
少数株主損益調整前当期純利益	—	120,814
少数株主利益	587	659
当期純利益	37,511	120,155

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

当連結会計年度 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成23年 3 月 31 日)	
少数株主損益調整前当期純利益	120,814
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△62
為替換算調整勘定	△12,469
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,067
その他の包括利益合計	△13,598
包括利益	107,216
(内訳)	
親会社株主に係る包括利益	106,751
少数株主に係る包括利益	465

(3) 連結株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成21年 4月 1日 至 平成22年 3月 31日)	当連結会計年度 (自 平成22年 4月 1日 至 平成23年 3月 31日)
株主資本		
資本金		
前期末残高	69,014	69,014
当期末残高	69,014	69,014
資本剰余金		
前期末残高	96,258	96,259
当期変動額		
自己株式の処分	1	2
当期変動額合計	1	2
当期末残高	96,259	96,261
利益剰余金		
前期末残高	982,277	987,685
持分法適用会社の会計処理の変更に伴う増減	△18,297	—
当期変動額		
剰余金の配当	△13,806	△25,194
当期純利益	37,511	120,155
連結範囲の変動	—	351
当期変動額合計	5,408	95,312
当期末残高	987,685	1,082,997
自己株式		
前期末残高	△221,049	△310,604
当期変動額		
自己株式の取得	△89,570	△495
自己株式の処分	15	5
当期変動額合計	△89,555	△490
当期末残高	△310,604	△311,094
株主資本合計		
前期末残高	926,500	842,354
持分法適用会社の会計処理の変更に伴う増減	△18,297	—
当期変動額		
剰余金の配当	△13,806	△25,194
当期純利益	37,511	120,155
連結範囲の変動	—	351
自己株式の取得	△89,570	△495
自己株式の処分	16	7
当期変動額合計	△84,146	94,824
当期末残高	842,354	937,178

ファナック株(6954)平成23年3月期決算短信

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成21年 4 月 1 日 至 平成22年 3 月 31 日)	当連結会計年度 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成23年 3 月 31 日)
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金		
前期末残高	△32	2,411
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	2,443	△62
当期変動額合計	2,443	△62
当期末残高	2,411	2,349
為替換算調整勘定		
前期末残高	△58,451	△35,381
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	23,070	△13,342
当期変動額合計	23,070	△13,342
当期末残高	△35,381	△48,723
その他の包括利益累計額合計		
前期末残高	△58,483	△32,970
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	25,513	△13,404
当期変動額合計	25,513	△13,404
当期末残高	△32,970	△46,374
少数株主持分		
前期末残高	25,265	3,273
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△21,992	417
当期変動額合計	△21,992	417
当期末残高	3,273	3,690
純資産合計		
前期末残高	893,282	812,657
持分法適用会社の会計処理の変更に伴う増減	△18,297	—
当期変動額		
剰余金の配当	△13,806	△25,194
当期純利益	37,511	120,155
自己株式の取得	△89,570	△495
自己株式の処分	16	7
連結範囲の変動	—	351
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	3,521	△12,987
当期変動額合計	△80,625	81,837
当期末残高	812,657	894,494

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成21年 4月 1日 至 平成22年 3月31日)	当連結会計年度 (自 平成22年 4月 1日 至 平成23年 3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	55,826	193,495
減価償却費	13,834	13,321
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△156	251
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	3,476	2,891
受取利息及び受取配当金	△5,336	△1,999
持分法による投資損益 (△は益)	488	△3,126
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,324	△21,247
たな卸資産の増減額 (△は増加)	8,711	△20,208
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,408	6,560
その他	767	△2,543
小計	77,694	167,395
利息及び配当金の受取額	6,454	2,836
法人税等の支払額	△17,680	△48,946
その他	△459	1,053
営業活動によるキャッシュ・フロー	66,009	122,338
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△10,298	△7,070
投資有価証券の取得による支出	△172	—
合弁解消に伴う資産等譲受代金の支払	△13,270	—
子会社株式の取得による支出	—	△1,360
その他	165	1,614
投資活動によるキャッシュ・フロー	△23,575	△6,816
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△89,579	△513
配当金の支払額	△13,850	△25,198
その他	△618	△48
財務活動によるキャッシュ・フロー	△104,047	△25,759
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,141	△7,106
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△56,472	82,657
現金及び現金同等物の期首残高	555,612	499,140
連結子会社の非連結子会社合併に伴う現金及び現金同等物の増加	—	1,689
現金及び現金同等物の期末残高	499,140	583,486

(5) 【継続企業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況】

該当事項はありません。

(6) 【連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項】

最近の有価証券報告書（平成22年6月30日提出）における記載から重要な変更がないため開示を省略しております。

(7) 【連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更】

（会計処理の変更）

① 「資産除去債務に関する会計基準」の適用

当連結会計年度より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、当連結会計年度の営業利益及び経常利益は185百万円、税金等調整前当期純利益は2,124百万円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は2,740百万円であります。

(8) 【連結財務諸表に関する注記事項】

(連結包括利益計算書関係)

当連結会計年度(自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)

1 当連結会計年度の直前連結会計年度における包括利益

親会社株主に係る包括利益	63,025百万円
少数株主に係る包括利益	1,498百万円
計	64,523百万円

2 当連結会計年度の直前連結会計年度におけるその他の包括利益

その他有価証券評価差額金	2,443百万円
為替換算調整勘定	7,036百万円
持分法適用会社に対する持分相当額	16,946百万円
計	26,425百万円

(セグメント情報)

1 事業の種類別セグメント情報

前連結会計年度(自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)

当社グループの商品はCNCシステムとその応用商品であり、いずれもCNCシステム技術をベースにしており、その用途も自動化による生産システムに使用されるものであります。当社グループは、これらの商品およびそれらを組み合わせたシステムを提供する単一業種の事業活動を営んでおります。

2 所在地別セグメント情報

前連結会計年度(自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)

(単位：百万円)

	日本	米州	欧州	アジア	計	消去 又は全社	連結
I 売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	113,703	48,227	42,763	48,700	253,393	—	253,393
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	52,319	561	369	285	53,534	(53,534)	—
計	166,022	48,788	43,132	48,985	306,927	(53,534)	253,393
営業費用	124,985	47,839	41,630	41,859	256,313	(57,944)	198,369
営業利益	41,037	949	1,502	7,126	50,614	4,410	55,024
II 資産	346,064	51,859	78,933	75,083	551,939	339,712	891,651

(注) 1 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域

(1) 国又は地域の区分の方法……………地理的近接度による。

(2) 各区分に属する主な国又は地域

米州 : 米国、カナダ

欧州 : ルクセンブルグ、ドイツ

アジア: 韓国、台湾、インド

2 資産のうち消去または全社の項目に含めた全社資産の金額は当連結会計年度では355,478百万円であり、主として、全社共通の目的で保有している現金及び預金などで構成されております。

3 海外売上高

前連結会計年度(自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日) (単位:百万円)

	米州	欧州	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高	50,484	42,551	105,442	1,751	200,228
II 連結売上高					253,393
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	19.9	16.8	41.6	0.7	79.0

(注) 1 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域

(1) 国又は地域の区分の方法……………地理的近接度による。

(2) 各区分に属する主な国又は地域

米州 : 米国、カナダ

欧州 : ルクセンブルグ、ドイツ、フランス、イギリス、イタリア

アジア: 韓国、台湾、中国、マレーシア、インド、シンガポール

その他の地域: オーストラリア

4 セグメント情報

当連結会計年度(自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)

当社グループは、ファクトリーオートメーション (FA) の総合的なサプライヤーとして、自動化による生産システムに使用されるCNCシステムとCNCシステムの技術をベースとしたその応用商品の開発、製造、販売を主な事業とする単一業種の事業活動を営んでおります。

当社グループでは、すべての商品に、CNC、サーボモータが使用されていることから、投資の意思決定は、特定の商品の状況だけではなく、すべての商品の受注・売上、製造の状況により判断しております。

このように、当社グループにおいては投資の意思決定を全体で実施し、事業セグメントは単一であるためセグメント情報の記載を省略しております。

5 追加情報

当連結会計年度より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

6 関連情報

当連結会計年度(自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)

(1) 製品及びサービスごとの情報

(単位:百万円)

	FA	ロボット	ロボマシン	合計
外部顧客への売上高	247,667	77,989	120,545	446,201

(2) 地域ごとの情報

◎ 売上高

(単位：百万円)

日本	米州	欧州	アジア	その他の地域	合計
110,588	59,150	49,845	224,528	2,090	446,201

(注) 売上高は顧客の所在地別を基礎とし、国又は地域別に分類しております。

◎ 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の額が連結貸借対照表の有形固定資産の額の90%超であるため、記載を省略しております。

◎ 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載しておりません。

(1 株当たり情報)

前連結会計年度 (自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)		当連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)	
1株当たり純資産額	4,133.89円	1株当たり純資産額	4,550.71円
1株当たり当期純利益金額	187.75円	1株当たり当期純利益金額	613.75円
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。		なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	

(注) 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下の通りであります。

項目	前連結会計年度 (自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)
当期純利益(百万円)	37,511	120,155
普通株式に係る当期純利益(百万円)	37,511	120,155
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式の期中平均株式数(千株)	199,797	195,773

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(リース取引、有価証券、デリバティブ取引、企業結合等)

決算短信における開示の必要性が大きいと考えられるため、開示を省略しております。

決算発表補足資料

1 連結業績（平成22年4月～平成23年3月）

1) 純利益 1,202億円（前年比 3.2倍）

2) 売上高 4,462億円（前年比 1.8倍）

中国をはじめとするアジア市場で、FAおよびロボドリル（小型マシニングセンタ）が絶好調を継続。国内も好調な輸出により回復。

米州向ロボットも本格化。

ロボカット（ワイヤカット放電加工機）及びロボショット（電動プラスチック射出成形機）も回復が進んだ。

3) 営業利益 1,898億円（前年比 3.4倍）

経常利益 1,954億円（同 3.3倍）売上高経常利益率43.8%

4) 配当は、98円59銭（連結配当性向30%）で過去最高。

2 23年上期業績予想

純利益 679億円（前年同期比 21.6%増）

営業利益 1,046億円（同 17.4%増）

経常利益 1,079億円（同 18.8%増）

売上高 2,373億円（同 13.4%増）

3 連結業績推移（単位 億円）

